

第116期中間期

# 株主の皆様へ

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



トピー工業株式会社

<http://www.topy.co.jp>

代表取締役社長

清水良朗



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、第116期第2四半期の営業の概況をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各国政府の経済対策の効果により生産や輸出の一部に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、深刻な世界経済の状況の下で、企業収益や雇用情勢が悪化する等、極めて厳しい状況が継続いたしました。

このような状況下、当社グループは、収益への影響を最小限に抑えるべく、自動車用アルミホイール事業の生産拠点集約をはじめ、生産体制や設備投資の見直し等、あらゆるコスト改善諸施策を推進してまいりました。

しかしながら、主要事業分野である鉄鋼事業及び自動車・産業機械部品事業におきましても、需要が大幅に減少し、売上高は911億5千7百万円（前年同期比46.6%減）、利益につきましては遺憾ながら、営業損失27億9千2百万円、経常損失23億1千1百万円、四半期純損失27億4千2百万円となりました。

このような状況を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら当期の中間配当は見送らせていただきました。なにとぞ、諸事情ご理解のうえ、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、景気に持ち直しの動きが見え始めたものの、世界経済や企業収益、雇用情勢等の動向に不透明な要因を抱え、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループは、収益への影響を最小限に抑えるための徹底的なコスト構造の改革に邁進し、総力を挙げ、この難局を打開してまいります。今後も、新製品・新技術・新生産方式の開発に注力し、引き続きグループ収益力の向上に取り組むとともに、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」で表すように、当社グループが社会と一体となって循環し、より豊かな暮らしを実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

# セグメント別の営業概況

## ●事業別セグメント

### 鉄鋼事業

鉄鋼業界は、内需の不振により粗鋼生産量は40年振りの低水準に留まり、電炉業界の主力市場である国内建設用鋼材の需要も低迷いたしました。

このような状況下、当社グループにおきましては、好調であった造船、自動車、産業機械向け鋼材の需要も激減したことに加え、原材料価格の下落による販価の落ち込みの影響を大きく受けました。その結果、売上高は330億8千6百万円(前年同期比51.2%減)、営業利益は10億4千9百万円(前年同期比57.0%減)となりました。

### 自動車・産業機械部品事業

自動車業界は、政府の環境対応車普及促進策により国内販売に回復の兆候が見られたものの、北米や欧州向け輸出の低迷等により、国内自動車生産台数は前年同期を著しく下回りました。また、建設機械業界につきましても、内外需ともに停滞し、引き続き深刻な状況となりました。

このような状況下、徹底的なコスト削減等のあらゆる諸施策を推進してまいりました。しかしながら、自動車用ホイールにつきましても、需要激減の影響を受け、トラック・バス用ホイールを中心に、販売数量が大きく落ち込みました。また、建設機械足回り部品では、国内外の需要低迷と在庫調整が相俟って、大幅減産を余儀なくされました。その結果、売上高は458億7千9百万円(前年同期比49.8%減)、営業損失は28億1百万円となりました。

### 橋梁・土木・建築事業

橋梁業界は、依然として厳しい市場環境が継続しておりますが、過年度に受注した工事が順調に完工し、売上高は63億2千2百万円(前年同期比25.7%増)、営業利益は1百万円を計上することができました。

### 発電事業

明海発電株式会社は、事業計画に沿った安定操業を確保しております。売上高は35億5千6百万円、営業利益は6千8百万円となりました。

### その他

屋内外サインシステム事業、合成マイカの製造販売、不動産の賃貸、スポーツ施設の運営等を行っており、売上高は23億1千万円、営業利益は3億9千9百万円となりました。

## ●所在地別セグメント

### 日本

鉄鋼事業及び自動車・産業機械部品事業での需要が大幅に減少し、売上高は802億3千6百万円(前年同期比47.7%減)、営業損失は11億7千9百万円となりました。

### 米国

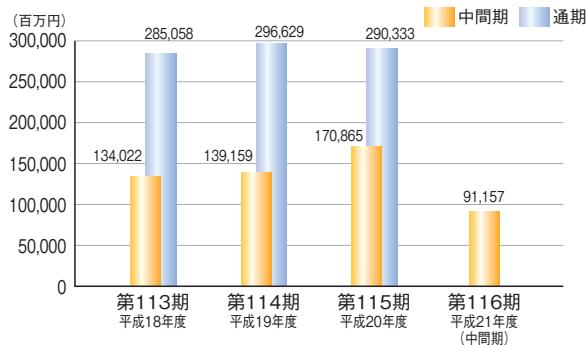
自動車・産業機械部品を製造販売しており、売上高は63億6千5百万円(前年同期比39.6%減)、営業損失は1億8千9百万円となりました。

### その他の地域

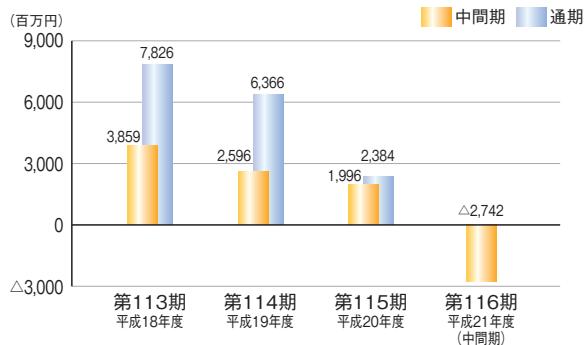
自動車・産業機械部品を製造販売しており、売上高は45億5千5百万円(前年同期比33.8%減)、営業利益は1億7千3百万円(前年同期比74.0%減)となりました。

# 業績ハイライト

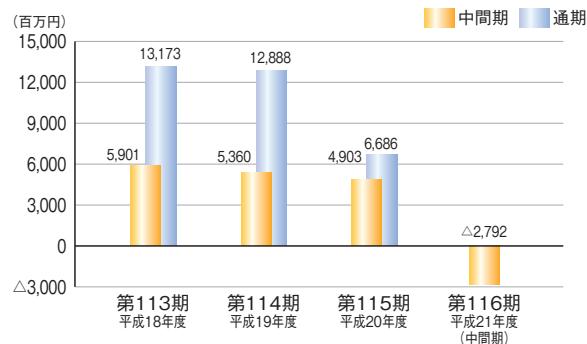
## 売上高



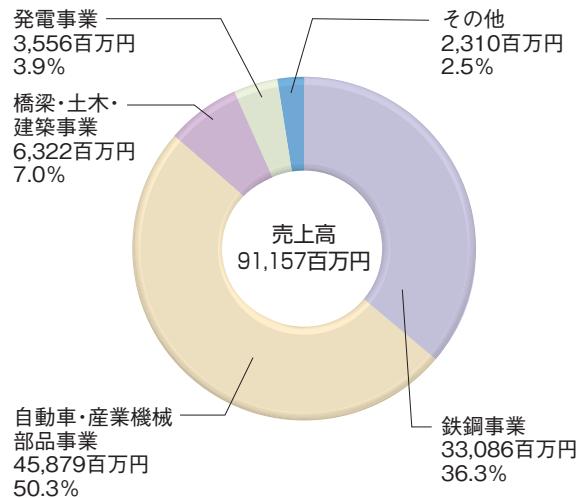
## 当期純利益



## 営業利益

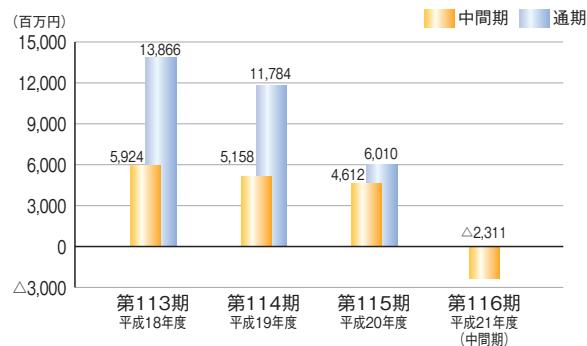


## セグメント別売上比率



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 経常利益



# 中間連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	85,464	流動負債	77,428
現金及び預金	19,855	支払手形及び買掛金	30,119
受取手形及び売掛金	33,222	短期借入金	37,017
商品及び製品	14,642	1年内償還予定の社債	510
仕掛品	3,730	リース債務	11
原材料及び貯蔵品	7,544	未払法人税等	692
繰延税金資産	2,766	製品保証引当金	18
その他	3,776	工事損失引当金	257
貸倒引当金	△74	その他	8,801
固定資産	111,498	固定負債	39,582
有形固定資産	82,662	社債	8,935
建物及び構築物	72,489	長期借入金	18,713
減価償却累計額	△45,437	リース債務	29
建物及び構築物(純額)	27,051	繰延税金負債	60
機械装置及び運搬具	153,393	退職給付引当金	4,818
減価償却累計額	△120,066	役員退職慰労引当金	994
機械装置及び運搬具(純額)	33,327	定期修繕引当金	375
土地	18,453	負ののれん	460
リース資産	55	その他	5,196
減価償却累計額	△12	負債合計	117,011
リース資産(純額)	43	(純資産の部)	
建設仮勘定	1,300	株主資本	81,657
その他	31,089	資本金	20,983
減価償却累計額	△28,602	資本剰余金	18,824
その他(純額)	2,486	利益剰余金	41,997
無形固定資産	581	自己株式	△147
その他	581	評価・換算差額等	△2,525
投資その他の資産	28,254	その他有価証券評価差額金	1,659
投資有価証券	23,264	繰延ヘッジ損益	△55
繰延税金資産	2,292	為替換算調整勘定	△4,129
その他	2,773	少数株主持分	818
貸倒引当金	△76	純資産合計	79,951
資産合計	196,962	負債純資産合計	196,962

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 中間連結損益計算書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	91,157
売上原価	82,647
売上総利益	8,509
販売費及び一般管理費	11,302
営業利益	△2,792
営業外収益	1,213
受取利息	21
受取配当金	232
負ののれん償却額	115
雇用調整助成金	338
持分法による投資利益	173
その他	332
営業外費用	732
支払利息	562
その他	169
経常利益	△2,311
特別利益	9
固定資産売却益	1
投資有価証券売却益	0
製品保証引当金戻入額	4
その他	4
特別損失	1,964
固定資産売却損	0
固定資産除却損	1,906
その他	58
税金等調整前四半期純利益	△4,266
法人税等	△1,538
少数株主利益(控除)	15
四半期純利益	△2,742

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## ■世界初の980MPa級高張力鋼板を採用したアルミホイールと遜色のない重量の軽量化スチールホイールを開発

自動車業界では、世界規模の環境保護規制が進むなか、環境へ与える影響を低減するために車両の軽量化に取り組んでいます。特に、ホイールの軽量化は、1台あたり4本装着されることやバネ下重量の低減がバネ上重量に比べ効果が大きいことから、燃費低減・環境保護に大きく寄与いたします。当社では、高張力鋼板のホイールへの適用拡大について研究してきましたが、このたび、高張力を保持しつつ、溶接性と成形性を重視した980MPa級高張力鋼板のリムへの採用を、溶接方法と成形方法の改良により開発いたしました。また、製品

形状や断面板厚分布などの設計見直しにより、780MPa級高張力鋼板を初めて採用したディスクと合わせ、従来のスチールホイールに対し約20%軽量化し、アルミホイールと遜色のない重量を実現いたしました。今後も他社に先駆けて先進的な技術に裏付けされた高性能ホイールを開発し、グローバルでの競争力向上を図ってまいります。



## ■軽量化ISO方式ホイールの量産

ISO方式とは、大型車へのホイール取り付け方式の一つで、現在、国際的に主流となっています。日本の大型トラックは、JIS方式を採用していましたが、近年、点検・整備等の不良を原因とする大型車の車輪脱落事故が多発したことを受け、グローバルな観点や整備性などから、2009年10月から適用された自動車排出ガス規制の強化（ポスト新長期規制）の導入に合わせ、以後国内で新型車として製造される大型トラック、バスにISO方式ホイールが採用されることとなりました。当社では、ISO方式の採用にあたり、固有の軽量化技術によるコルゲートリムと、ECOD成型ディスクを組み合わせ、従来比約15%の軽量化を実現したISO方式ホイールを開発し、2010年3月より量産開始いたします。



## ■自動車用アルミホイール事業の生産拠点集約

当社グループの取り扱い品目である乗用車用アルミホイールの市場は、拡大が続いておりましたが、現在の自動車需要の急激な落ち込みや海外製品との競合により、競争は激化しています。その一方で、径大化、軽量化、高意匠化に対する市場ニーズは年々増加しています。このような環境下、アルミホイール事業の基盤強化を目的に、海外提携先との連携強化を一層深めるとともに、国内生産の重点を高付加価値製品に移した最適な供給体制を構築することといたしました。現在当社グループは、当社豊川製造所（愛知県豊川市）と連結子会社である九州ホイール工業株式会社（本社・工場：福岡県京都郡苅田町）で自動車用アルミホイールの生産を行っていますが、九州ホイール工業株式会社に生産拠点を集約し、生産の効率化および固定費等の削減を目指します。

## ■2009 TOPY CUP開催

当社は、社会貢献活動の一環として、TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権を支援しています。今年はタイガー・ウッズの姪、シャイアン・ウッズ選手や坂田信弘総監督率いる大手前大学の出場など、話題性が高く、大きく報道されました。試合は、ワシントン大学が5連覇を狙う東北福祉大学を破り、男子団体戦を制しました。また、女子はNCAA選手権優勝のアリゾナ州立大学が実力を発揮し、優勝しました。当社は本大会を通じて、スポーツ振興および日米学生親善、地域活性化の支援に取り組んでいます。



## ■(財)交通遺児育英会への寄付を実施しました

1万株以上ご所有の株主様への当社株主優待<sup>\*1</sup>は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかを選択いただいております。社会福祉団体への寄付を選択されますと、株主様に代わり、当社からフラワープレゼント相当額を寄付いたします。第3回目である2009年3月末の株主様のうち、201名の株主様が社会福祉団体への寄付を選択されました。

寄付選択者数・・・・・・・・・・201名  
寄付金額・・・・・・・・・・603,000円  
寄付先・・・・・・・・・・財団法人交通遺児育英会<sup>\*2</sup>

※1 株主優待制度の詳細は14ページをご覧ください。  
※2 寄付先については、当社が「輸送用機器の総合メーカー」であるということを考慮し、交通遺児をサポートする財団法人交通遺児育英会としました。

# 株式の状況

(平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数 883,000,000株

発行済株式総数 240,775,103株

株主数 17,752名

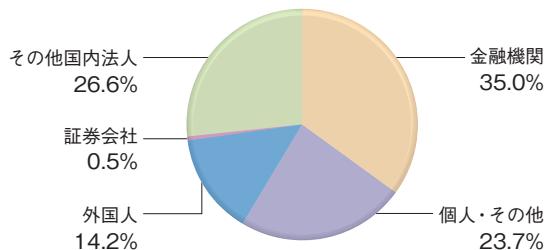
## 大株主一覧(上位10名)

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
新日本製鐵株式会社	48,182	20.05
株式会社みずほコーポレート銀行	10,878	4.53
明治安田生命保険相互会社	9,751	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,562	3.56
トビーファンド	6,631	2.76
株式会社りそな銀行	5,909	2.46
株式会社損害保険ジャパン	5,746	2.39
トビー工業社員持株会	5,225	2.17
みずほ信託銀行株式会社	4,893	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,805	2.00

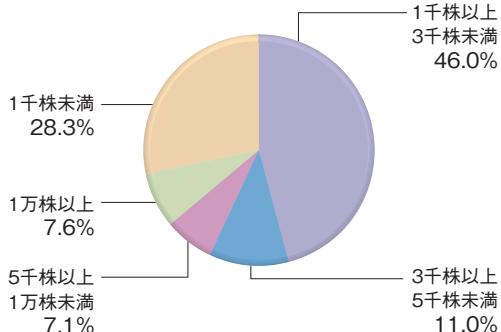
- (注) 1.株数は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2.出資比率は、自己株式を控除して算出しています。  
 3.トビーファンドは当社取引先持株会の名称です。

## 株式分布状況

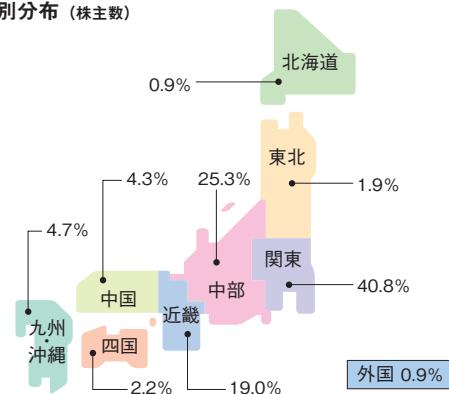
### ●所有者別分布 (株式数)



### ●所有株数別分布 (株主数)



### ●地域別分布 (株主数)



### ■上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

# 会社概要

(平成21年9月30日現在)

商号 トピー工業株式会社  
創立 1921年(大正10年)10月  
資本金 20,983百万円  
社員数 2,093名

## 主要な事業所

- 本社 東京都品川区大崎1-2-2 ☎03-3493-0777(総務部直通)
- 支店 名古屋支店 名古屋市中区 大阪支店 大阪市北区
- 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市 豊川製造所 愛知県豊川市  
綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市
- 研究開発センター 愛知県豊橋市

連結子会社数 18社

## 役員

### ●取締役

代表取締役社長 清水良朗  
専務取締役 岡崎茂美  
専務取締役 村田孝雄  
常務取締役 池田仁  
常務取締役 荒井隆司  
常務取締役 東彰  
常務取締役 西崎敏夫  
常務取締役 生田目光男  
取締役 佐々井保幸  
取締役 金森豊  
取締役 黒田郁夫

### ●監査役

常勤監査役 玉置美一  
常勤監査役 阿部一誠  
常勤監査役 瀧山崇  
常勤監査役 能野基道

### ●執行役員

小川雄三  
望月淳夫  
大久保元也  
住田規  
齋藤徳夫  
棚橋章  
石井泰人  
佐原崇彦  
谷俊之

# 株主優待制度のご案内

## 基準日

毎年3、9月末日の株主名簿に記載された株主の皆様を対象に、そのご所有株式数に応じて、下記の優待を実施しています。

## 優待内容

### 1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、最高1,000日以内)

### 3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、最高1,000日以内)
- ・通院特約  
保険金額:1千円/日(最高90日以内)

### 1万株以上ご所有の株主様

#### ●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険  
保険金額:100万円(最高)  
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害  
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで  
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約  
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、最高1,000日以内)
- ・通院特約  
保険金額:1千円/日(最高90日以内)
- フラワープレゼントまたは 社会福祉団体への寄付  
年2回(6月・12月)実施

## その他

当保険は保険業法における交通事故傷害保険普通約款が適用されます。なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局  
株式会社トピーエージェンシー  
TEL.03-5436-0212 FAX.03-5436-0215



## 株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 定 時 株 主 総 会 6月
- 基 準 日 3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 期末配当金受領者  
確 定 日 3月31日
- 中間配当金受領者  
確 定 日 9月30日(中間配当をする場合)
- 株 主 名 簿 管 理 人 東京都港区芝三丁目33番1号  
(特別口座管理機関) 中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
0120-78-2031(フリーダイヤル)
- 公 告 方 法 電子公告(当社ホームページ掲載)  
※やむを得ない事由により電子公告が出来ない場合、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ■表紙写真 クローラーロボット 危機管理産業展2009に出展

サイエンス事業部では、10月21～23日に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2009」に出展いたしました。約65,000名の来場者に対し、ドア開閉アーム付きクローラーロボットやフリッパー付きモデルを展示して、当社製品の性能をアピールいたしました。また、テレビ朝日のスーパーモーニング「島原の乱の舞台に天草四郎の抜け穴が!?!」では、原城の学術的調査に当社製クローラーロボットを使用した模様が放映されました。クローラーロボットに対するユーザーニーズを捉え、拡販に取り組んでまいります。



# One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

